

## 横須賀火力発電所に関する住民意識調査結果

2018年11月10日

- 調査期間：2018年9月21日～26日
- 調査実施：国際環境 NGO グリーンピース・ジャパンが楽天インサイトに委託して実施。
- 対象地域：横須賀火力発電所建設予定地周辺地域  
(横須賀市、三浦郡葉山町、逗子市、横浜市金沢区)
- 調査方法：対象地域在住の1000人を対象に18～79歳で10代刻みの男女の人口構成比に合わせてオンラインで実施。

### □調査結果要旨：

- 地球環境問題の中で最も脅威を感じることで、地球温暖化が65%と最も高かった。
- 地球温暖化に最も脅威を感じるとした人の理由は、環境影響では「異常気象や気象災害の増加が心配」とする人が77.2%と最も多く、社会的影響では「子どもや孫の世代の社会環境への影響が心配」とする人が43.8%と最も多かった。
- 石炭火力発電所が大気汚染の原因となることについて、「知っていた」と「だいたいは知っていた」を合わせると全体の65%を占め、「ほとんど知らなかった」「知らなかった」を上回った。また、二酸化炭素の主要な排出源の一つであり、火力発電の中で最も排出が大きいことについて、「知っていた」が54.9%と「知らない」45.1%を上回った。
- 横須賀火力発電所の建設計画について、知らない人が75.5%を占めた。
- 横須賀火力発電所の建設計画について「知っている」とした245人のうち、環境アセスメントが実施されていることを知っているとした人は約7割いたが、そのうち意見を提出した人は2%にとどまった。
- 横須賀火力発電所の建設計画に対しては、「強く反対」「どちらかといえば反対」とする人を合わせると約4割となった。また、「情報が足りなくて答えられない」とした人も約4割近くになった。
- 地球温暖化に対する政府の対策について、「十分な対策がとれていると思う」とした人は2.5%にとどまったが、「対策は足りていないが仕方ないと思う」24.7%、「対策としては足りないのでもっとやるべきだと思う」63.6%と合わせ、対策は足りていないと感じている人は全体の9割近くにのぼった。

### □調査分析：

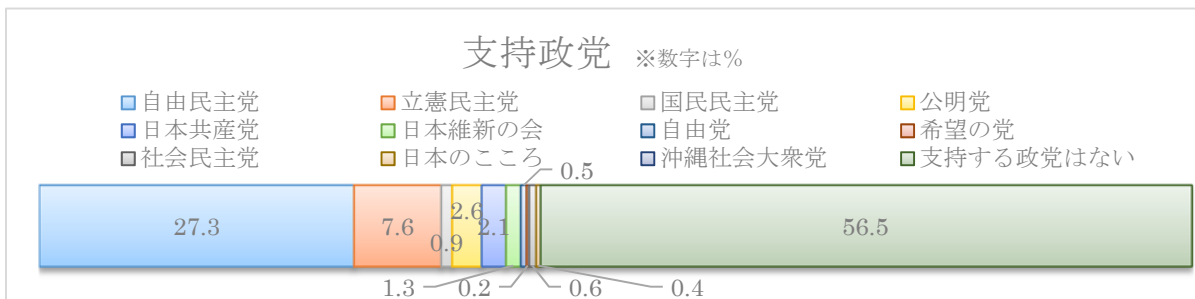
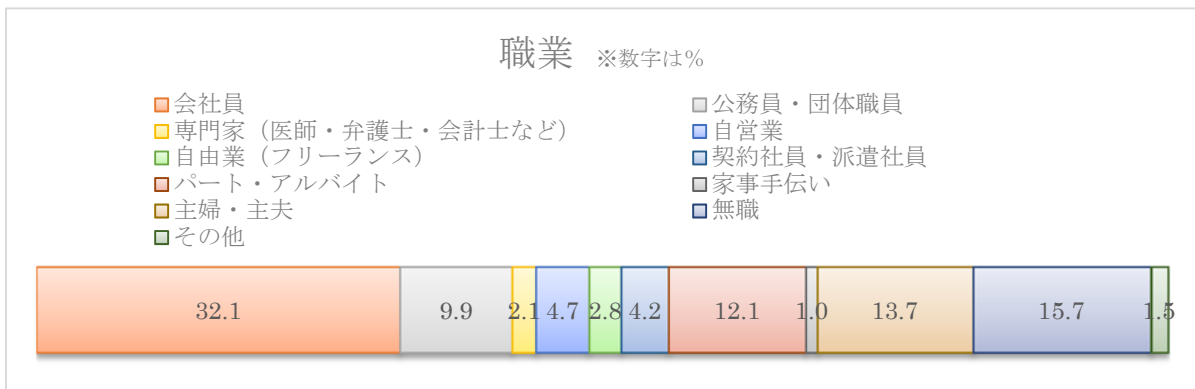
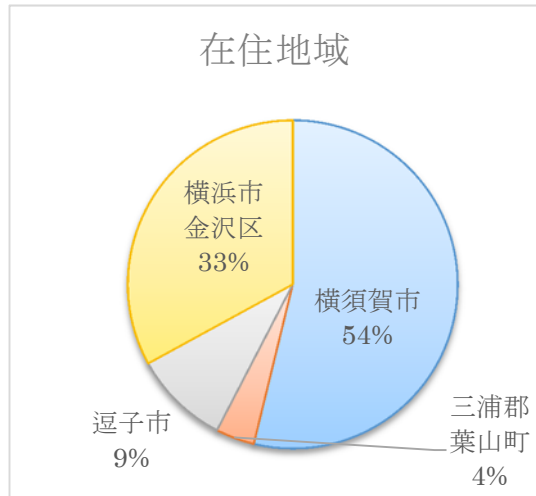
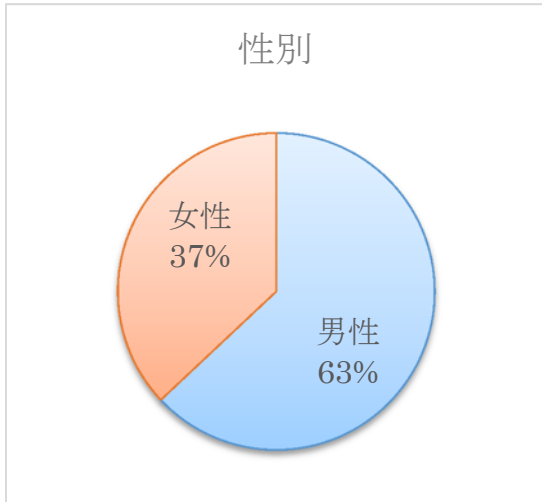
今回の調査から、気候変動に対しての危機感を持っている人が非常に多いことが明らかになった。また石炭火力発電所の影響についても半数以上の人が認識していることが明らかになった。

しかし、周辺地域で石炭火力発電所の建設計画が進んでいることを認識していた人は4分の1程度にとどまり、周知が進んでいないことも明らかになった。また、石炭火力発電所の建設に対して反対もしくは判断できない人が全体の8割にのぼる。このことから、住民が知らない間に、石炭は進めてほしくないという住民の気持ちに反して進められようとしている石炭火力発電所建設計画の問題が改めて浮き彫りになった。(気候ネットワーク)

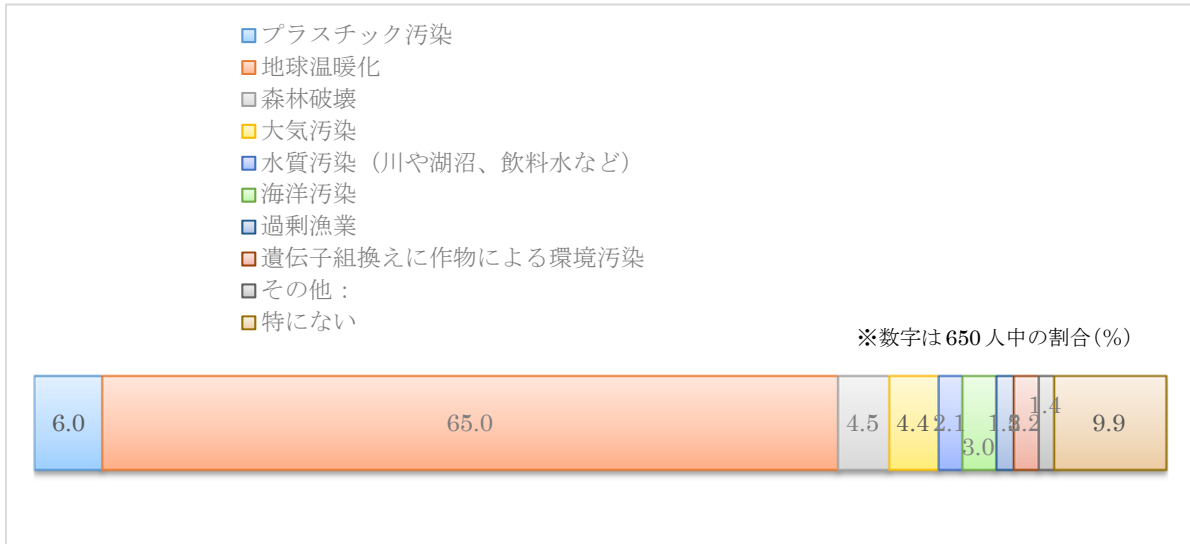
□対象者 1,000 名の内訳

性別：男性 630 人 女性 370 人

在住地域：横須賀市 540 人 葉山町 40 人 逗子市 90 人 横浜市金沢区 330 人

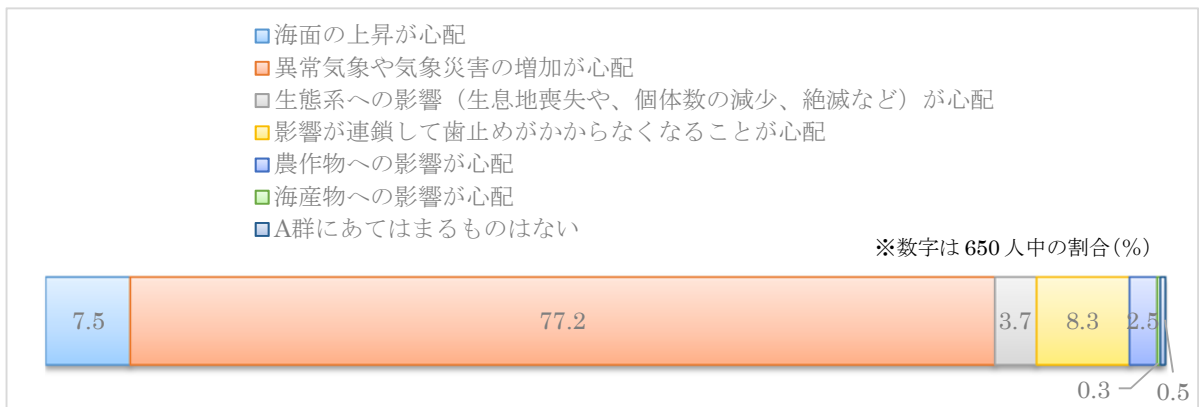


Q1. あなたが最も脅威を感じる地球環境問題は何ですか、一つ選んでください。

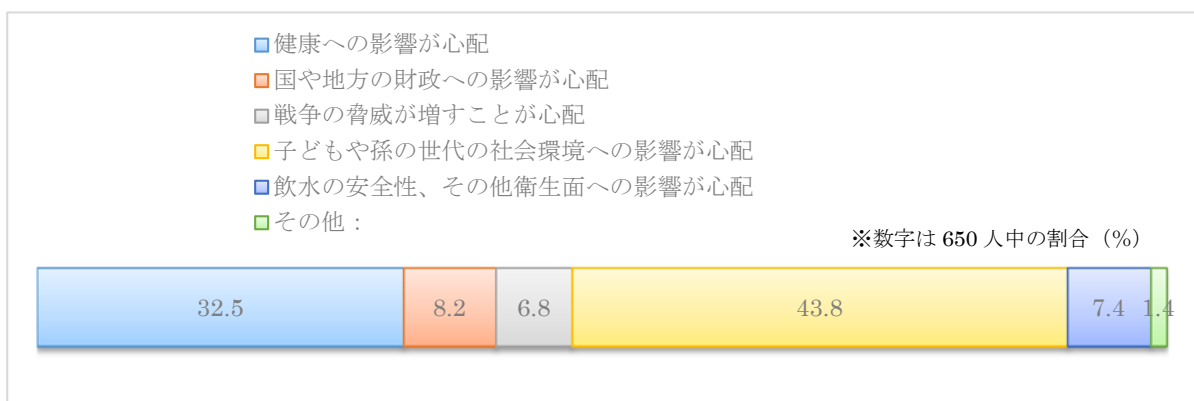


Q1-1. 「地球温暖化に最も脅威を感じる」とお答えの方にお伺いします。それはなぜですか。もっともあてはまるものをA群、B群からひとつずつ選んでください。

<A群>



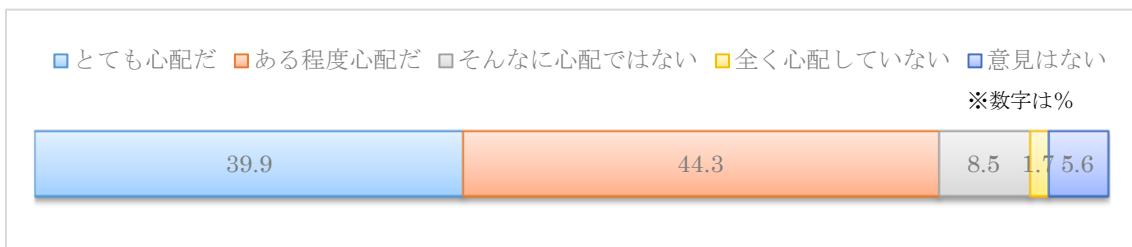
<B群>



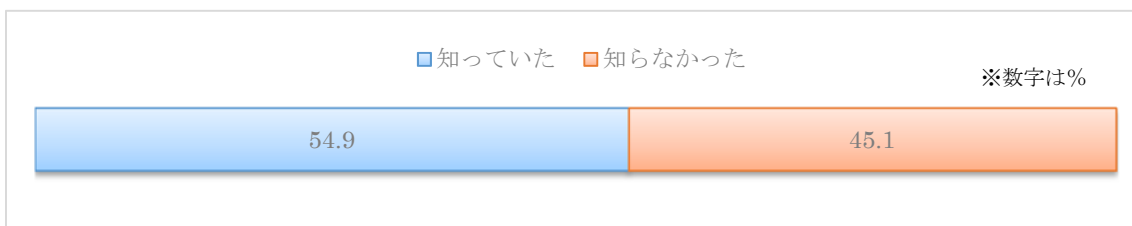
Q2. 窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）や硫黄酸化物（SO<sub>x</sub>）、水銀の排出やPM2.5の発生など、石炭火力発電所が大気汚染の原因となることを知っていましたか。



Q3. 窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）や硫黄酸化物（SO<sub>x</sub>）、水銀、PM2.5などによる大気汚染について、あなたはどのように思いますか。



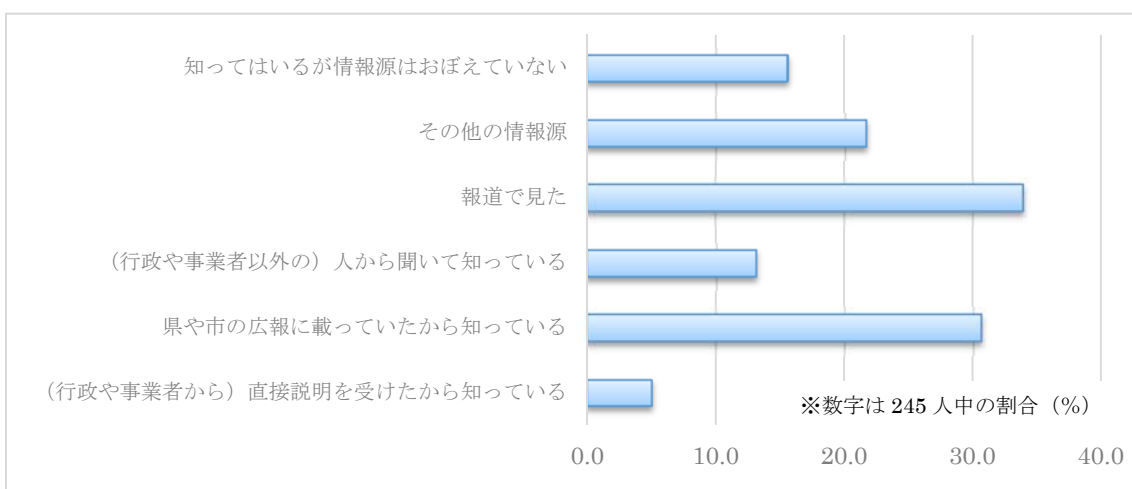
Q4. 石炭火力発電所は、地球温暖化の原因である二酸化炭素の主要な排出源のひとつでもあります。火力発電の中でも石炭火力発電が最も多く二酸化炭素（単位あたり）を排出すること知っていますか。



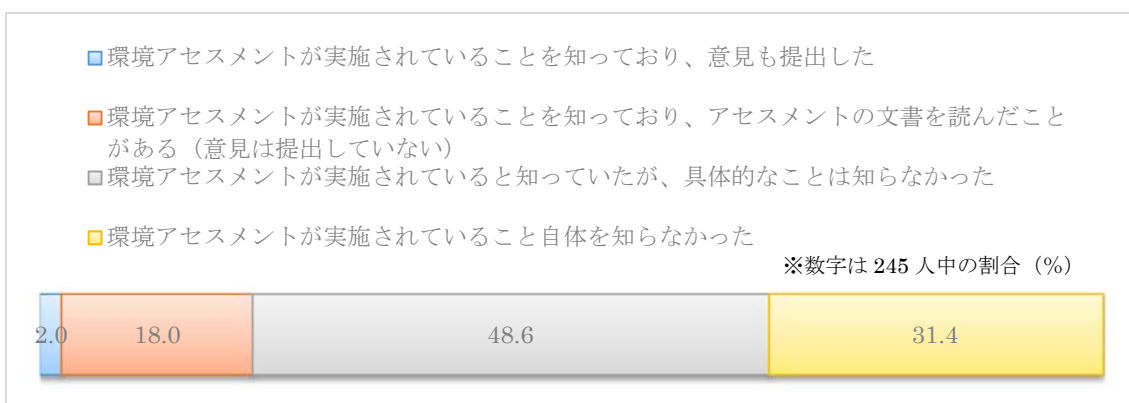
Q5. あなたの住む地域に新たに大規模な石炭火力発電所の建設が予定されています※。このことをあなたはご存知でしたか。※横須賀火力発電所（仮）新1号機、新2号機建設予定地：神奈川県横須賀市久里浜 9-2 事業者：東京電力と中部電力の合弁会社（株）JERA（東京電力フュエル&パワー株式会社からの引き継ぎ）



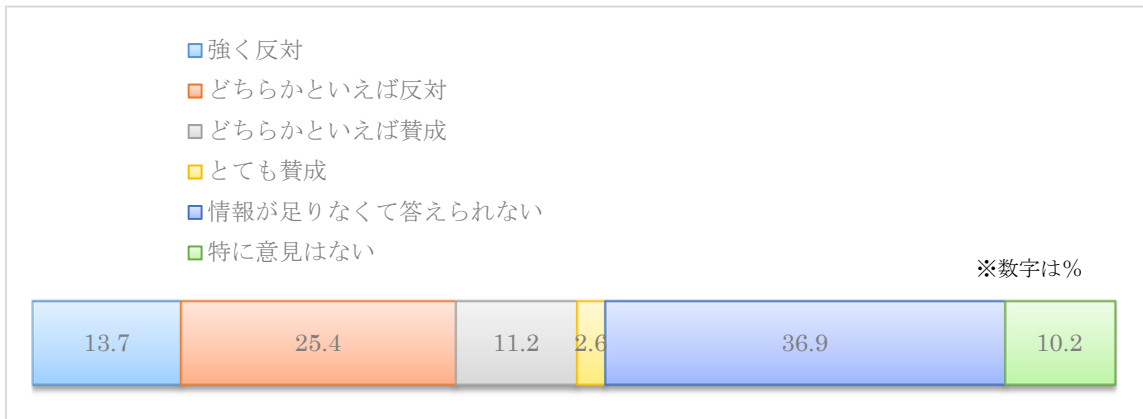
Q5-1. その石炭火力発電所の建設が予定されていることを何からお知りになりましたか。（いくつでも）



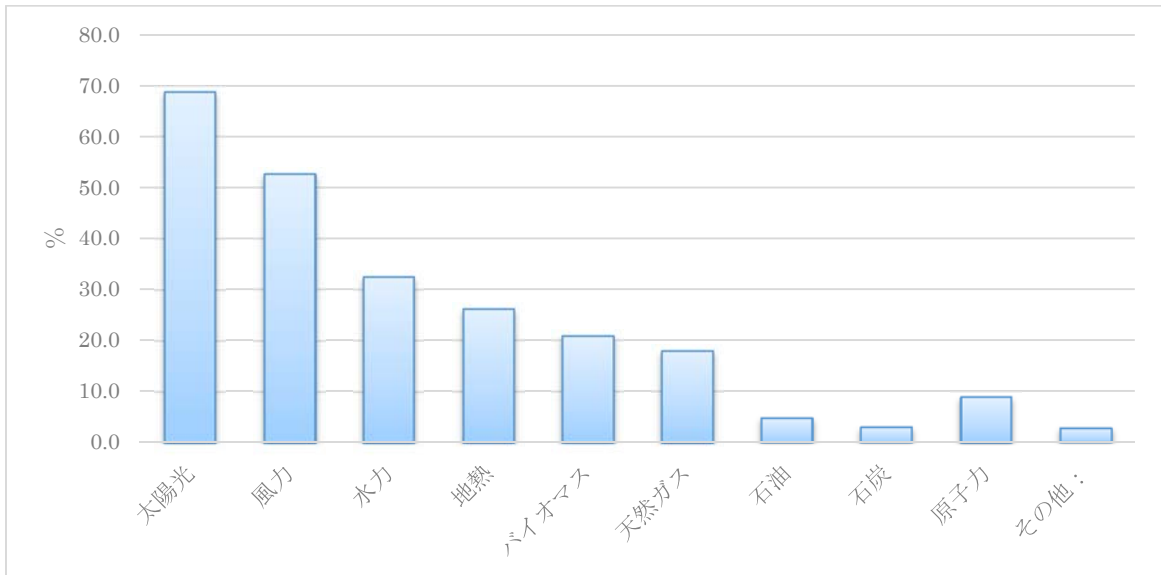
Q5-2. あなたの住む地域に石炭火力発電所の建設が予定されていることを「知っていた」と答えた方にお伺いします。石炭火力発電所を建設するとき、それが環境にどのような影響を与えるかについて、あらかじめ事業者が調査・予測・評価を行い、その結果を公表し、住民や、地方自治体などから意見を聴いて、環境の保全の観点からよりよい事業計画を作るための「環境アセスメント（環境影響評価）」という手続きがあります。前述の石炭火力発電所について、あなたにあてはまるものを選んでください。



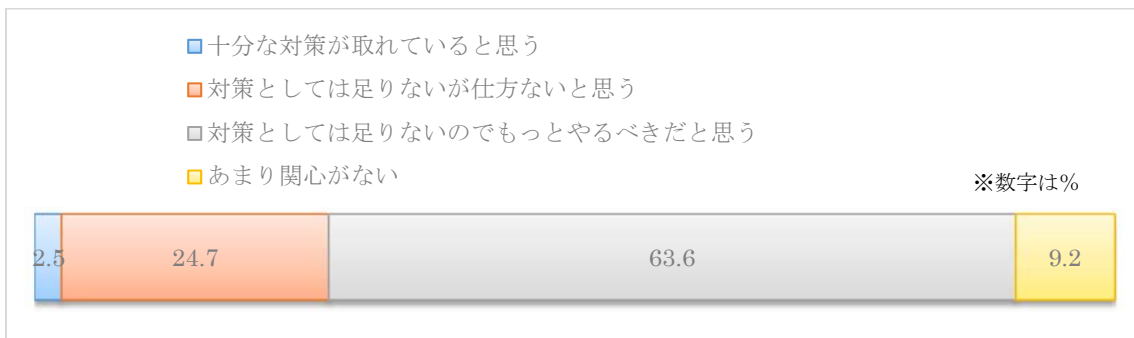
Q6. 新たに建設が予定されている石炭火力発電所について、地域（近接自治体を含む）の住民としてあなたはどのように思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。



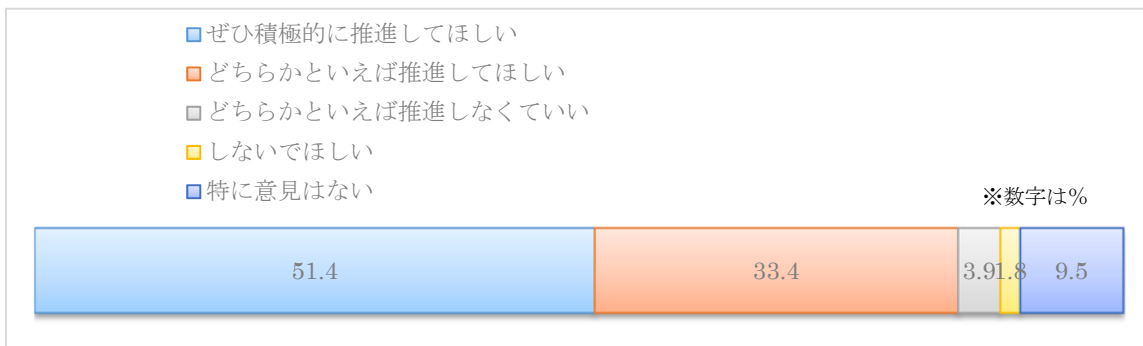
Q7. お住まいの地域で、この先電力を供給するために、政策的な支援がえられたり、投資がなされたりするとしたら、どの電力源がいいですか。（いくつでも）



Q8. 世界気象機関による分析では、世界的に猛暑や豪雨は地球温暖化の結果増加しており、長期的な地球温暖化による傾向と関係しているという見解が示されています。地球温暖化に対する政府の対策について、あなたはどのように感じていますか。

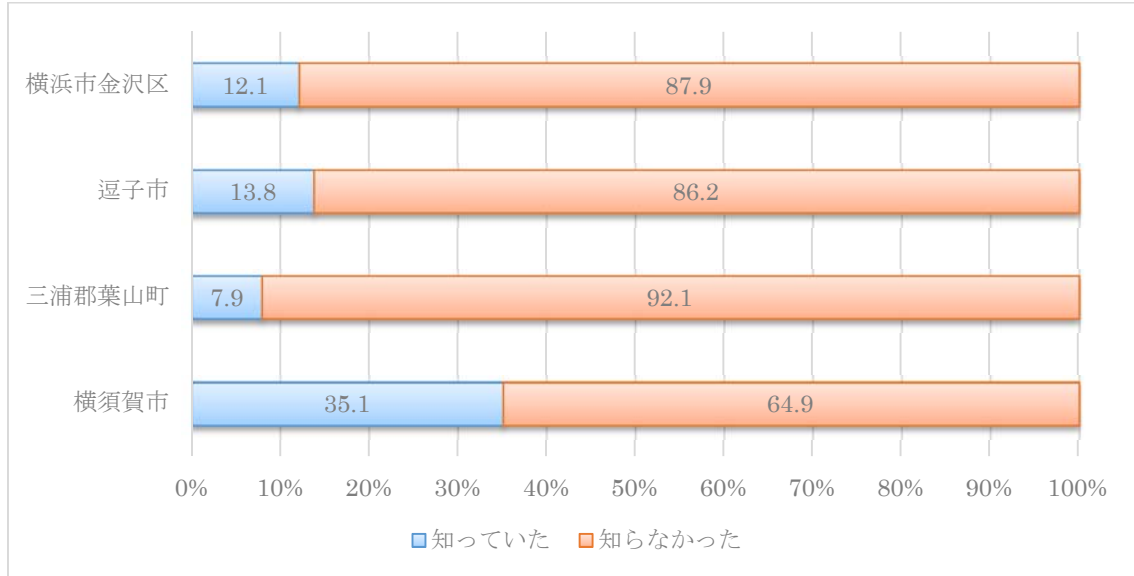


Q9. 危険な気候変動を回避するために、政府や行政が省エネや持続可能な自然エネルギーをもっと積極的に推進するべきだと思いますか。



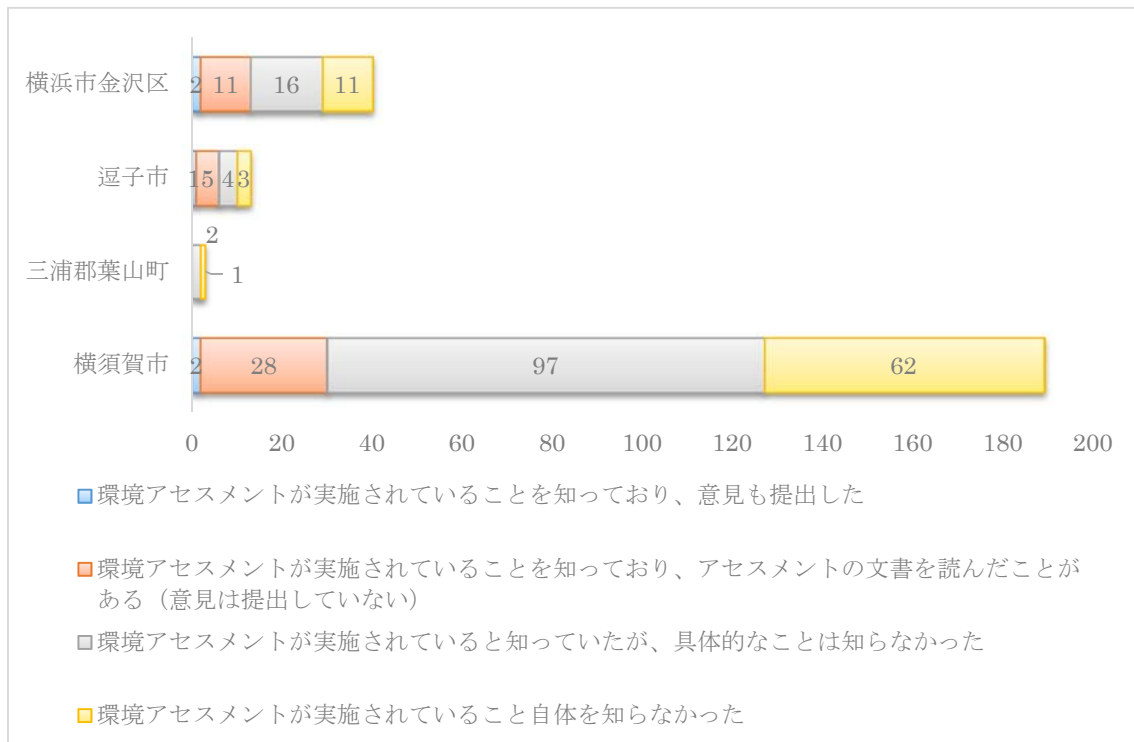
□クロス集計（一部）：地域別

Q5 横須賀火力発電所の建設予定について



・横須賀市の認知は他の地域の3~4.5倍も大きく、地元での認知が広まっていることがわかった。これは、横須賀石炭火力発電所建設について考える会などが、地域での駅前での周知活動やチラシ配布、新聞折り込みなどを行った結果だと考えられる。

Q5-2 環境アセスメントの手続きについて（計画を知っていた245人の内訳）\*人数



・横須賀市民も、他地域に比べて認識している人が多いものの、環境アセスメントに対して具体的なことを知らない人や環境アセスメントが実施されていること自体を知らない人が8割以上を占めた。